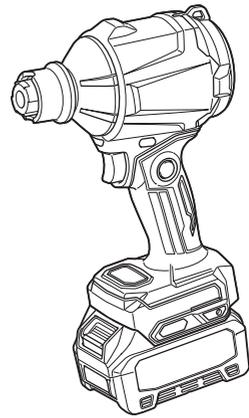


**Makita**

# 取扱説明書

# 充電式エアダスタ

モデル AS001G



このたびは充電式エアダスタをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。  
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして  
いただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださ  
るようお願いいたします。  
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	5
・ 充電式エアダスタ安全上のご注意	13
・ 各部の名称	16
・ 標準付属品	19
・ 別販売品のご紹介	20
・ バッテリについて	21
・ 充電器について	24
・ 使い方	33
・ スイッチの操作	33
・ ライト	34
・ 風量の切替	35
・ 用途別ノズルの組み合わせ	36
・ 吹き飛ばし作業	36
・ 空気入れ作業	40
・ 空気抜き作業	42
・ 保護機能	45
・ 故障かな？と思ったら	46
・ 保守と点検	47
・ 本製品のお手入れ	47
・ フィルタのお手入れ	47
・ フィルタ C のお手入れ	48
・ ご修理の際は	48
・ 充電式エアダスタ 保証書	52

# 主要機能

主要機能	モデル	AS001G
電動機		ブラシレスモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
		BL4025 (容量 2.5 Ah)
電圧		直流 36 V (40 V max) ※ 1
吸込み真空度※ 4		10.3 kPa
風速 (最大) ※ 3 ※ 5		200 m/s
風速 (平均) ※ 3 ※ 5		163 m/s
風圧 (最大) ※ 3 ※ 5		29.7 kPa
風量 (最大) ※ 2 ※ 5		1.1 m <sup>3</sup> /min
本製品寸法※ 2		長さ 180 mm × 幅 94 mm × 高さ 300 mm
質量※ 2		1.5 kg

## モード別スペック値一覧※ 2

項目	モード1	モード2	モード3	モード4
風力 (最大)	1.1 N	1.7 N	2.3 N	2.8 N
1回の充電での作業量	50 min	25 min	17 min	13 min

数値は参考値です。

周囲の温度やバッテリーの劣化度合いなどにより、可動時間は変化します。

※ 1 : 40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2 : BL4025 装着時、ノズル類非装着時

※ 3 : BL4025 装着時、ノズル7 装着時

※ 4 : 空気抜き用途時

※ 5 : モード 4

## 主要機能

充電器		DC40RA
入力電圧		単相交流 100 V
入力周波数		50-60 Hz
入力容量		310 W
バッテリー 充電端子	出力電圧	直流 40 V max
	出力電流	直流 6 A
USB 電源端子	出力電圧	直流 5.0 V
	出力電流	直流 2.4 A
	端子形状	USB A 型

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- |   |  |
|---|--|
|  <b>警告</b> | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。   |
|  <b>注意</b> | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。<br>なお  <b>注意</b> に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  <b>注</b>  | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。   |

## ⚠ 警告

### 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
  - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
  - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
  - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

### 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
  - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
  - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
  - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
  - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
  - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
  - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠ 警告

### 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
  - 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
  - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
  - 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
  - バッテリーを本機に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  - スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
  - 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 本機を無理に押しつけず、常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

### 充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
  - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
  - 本機の調整
  - 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
  - 保管、または修理
  - 充電工具から離れるとき
  - 本機の受け渡し
  - その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
  - 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
  - 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
  - バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
  - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
  - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
  - 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
  - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

### バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
  - スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

## ⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
  - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
  - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
  - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
  - ・本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
  - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
  - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
  - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
  - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
  - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
  - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
  - ・バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
  - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
  - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
  - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

## ⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
  - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
  - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。
  - ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
  - ・ 性能が低下したり、故障の原因になります。

### 整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
  - ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
  - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
  - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
  - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

### その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
  - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
    - < 異常・故障例 >
    - ・ 本機やバッテリーが異常に熱い。
    - ・ 本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
    - ・ 焦げくさい臭いがする。
    - ・ ビリビリと電気を感じる。
  - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
  - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
  - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
  - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
  - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
  - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
  - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
  - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
  - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
  - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
  - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
  - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
  - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
  - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

## ⚠ 警告

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm <sup>2</sup>	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式エアダスタとして、さらに次の注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

### ご使用になる前に

1. 子供や体力が低下した人、感覚や精神状態に異常を認められる方には、絶対に使用させないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
2. 小さい子供やペットのいるそばで使用しないでください。
  - ・ 事故の原因になります。
3. 本製品の使用者が他の人や他の人の財産に対して、本製品に不備が無い事故や、損害を与えた場合はその責任を負う義務があります。

### 使用時のご注意

1. 次のときは必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。
  - ・ 本製品から離れるとき。
  - ・ 使用を終了したときや、使用しないとき。
  - ・ 本製品の点検、清掃をする際や作業前の準備中。
  - ・ 本製品が異常振動するなど異常が認められたとき。
2. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
3. 昼間や十分な光量が確保できる場所でご使用ください。
  - ・ 暗い場所での作業は、事故の原因となります。
4. フィルタは定期的にメンテナンスをし、目詰まりしないようにしてください。
  - ・ 故障の原因になります。
5. ほこりの多い場所で操作するときは、吸入口や送風口をほこりや汚れで塞がないように注意してください。
  - ・ 故障の原因になります。
6. 本製品の送風口や吸入口に手や棒などを入れないようにしてください。
  - ・ けがや故障の原因になります。
7. 水平な地面で安定した姿勢で本製品を操作してください。
8. 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
9. 濡れた手で本製品を操作しないでください。
10. 高所で本製品を使用しないでください。
11. 本製品を落下させないでください。
  - ・ 故障やけがの原因になります。

## ⚠ 警告

12. 本製品を誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、事故やけがの原因になります。
13. 本製品に、マキタが提供する純正のノズルや標準付属品および別販売品以外は使用しないでください。
  - ・ けがや故障の原因になります。
14. 不意な始動を避けてください。
  - ・ 本製品を持ち運ぶときは、スイッチを切り、バッテリーを取りはずしてください。
  - ・ 本製品を持ち運ぶ際、指がスイッチにかかっていると、不意な始動につながる原因になります。
15. 本製品を持ち運ぶときは、ノズルまたはアタッチメント類を持つたり、引きずったりしないでください。けがや故障の原因になります。
  - ・ 故障やけがの原因になります。
16. 本製品は極端な低温環境下で使用しないでください。

### 吹き飛ばし作業

1. 使用中にノズルの先端を他人や自身に向けたり、粉じんやくずなどを他人に吹き付けたりしないでください。
  - ・ 粉じんやくずなどが目に入ったり、けがや事故の原因になります。
2. 薬品などに使用して、吹き散らさないでください。
  - ・ ガス状になった有毒な薬品を吸い込むと、肺を傷める恐れがあります。
3. 釘、ガラス、刃物などの鋭利なものを吹き飛ばさないでください。
  - ・ けがや事故の原因になります。
4. ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの引火性のある危険物の近くでは、使用しないでください。また、それらを吸入口から吸い込ませないでください。
  - ・ 引火または爆発の原因になります。

### その他、作業中のご注意

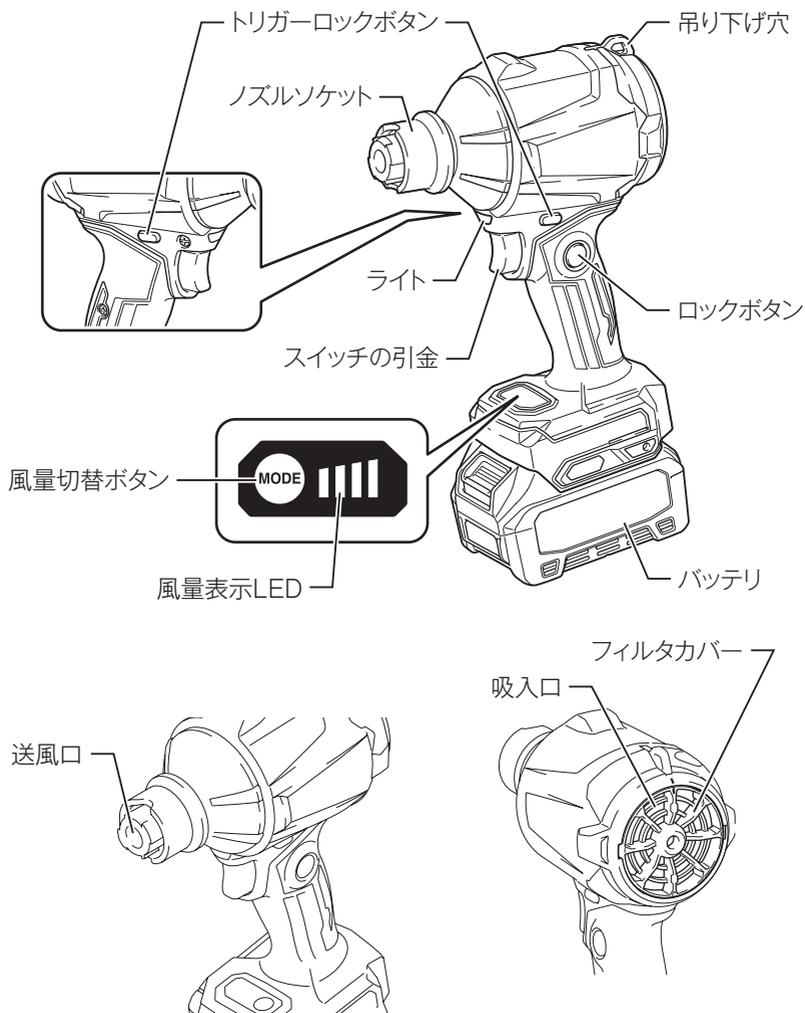
1. ダストキャップ（本製品の吸入口）を塞がないでください。
2. ノズルまたはアタッチメントが対象物に取り付けられているとき、または操作中に本製品を放置しないでください。
3. 本製品の空気抜き作業用アタッチメントを使用して掃除機のような使い方はできません。
  - ・ 故障の原因になります。
4. 本製品は呼吸を補助する装置として使用することはできません。
  - ・ けがや死亡など重大な事故につながる恐れがあります。

## ⚠ 警告

### メンテナンスと保管

1. 各部品にゆるみやガタつきなど損傷や損耗がないようにしてください。
  - ・ 各部品が損傷したり損耗した場合は、販売店または当社営業所に修理、交換を申し付けてください。
2. 本製品は子供の手が届かない、鍵のかかる乾燥した場所に保管してください。
3. スイッチを切った際、本製品の可動部がすべて停止することを確認してください。
4. 点検、保管、付属品や別販売品への変更をする際は、必ずバッテリーを取りはずしてください。
5. 本製品を使用する前に、十分冷ましてから使用してください。
6. 本製品は前述の時間を超えて、長時間連続使用しないでください。
  - ・ 故障の原因になるため、保護機能が作動してモータを停止する場合があります。
7. 本製品を保管する前に、十分冷ましてください。
8. 本製品は常に綺麗な状態で保管してください。
9. 本製品を分解しないでください。

# 各部の名称



## 注

- ・「吊り下げ穴」は本製品を吊り下げる用途以外では使用できません。

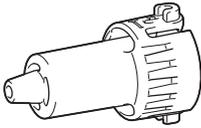
# 各部の名称

## ノズルアタッチメント一覧

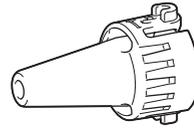
ノズルを交換することで吹き飛ばし作業やフィルタ清掃、ビニル管部の空気入れ、空気抜きなど、現場から家庭まで様々な用途に使用することができます。詳細は「用途別ノズルの組み合わせ」(36 ページ) を参照してください。

### 吹き飛ばし作業用

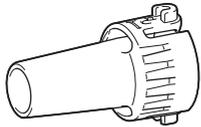
- ・ ノズル 3  
最大風力：1.7 N  
最大風圧：21.9 kPa



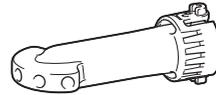
- ・ ノズル 7  
最大風力：1.1 N  
最大風圧：29.7 kPa



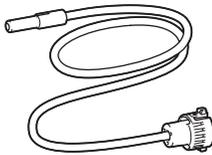
- ・ ノズル 13  
最大風力：2.7 N  
最大風圧：20.6 kPa



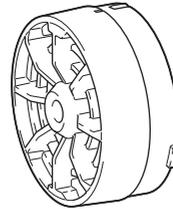
- ・ ワイドレンジノズル



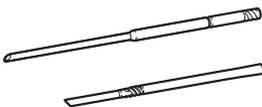
- ・ フレキシブルノズル 6



- ・ フィルタ C



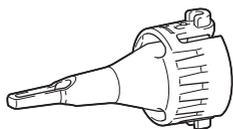
- ・ ロングノズルセット品  
(別販売品)



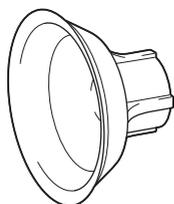
## 各部の名称

### 空気入れ・空気抜き作業用

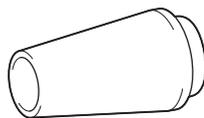
- ・ ピンチバルブノズル  
(浮き輪用ノズル)



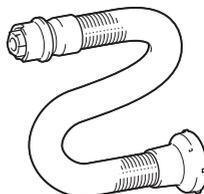
- ・ ラバーアタッチメント 65  
(布団圧縮アタッチメント)  
※ノズル 13 用



- ・ ラバーアタッチメント 20-30  
(プール用アタッチメント)  
※ノズル 13 用



- ・ エアベントホース  
(空気抜き用ホース)



## 標準付属品

標準付属品	モデル	AS001GZ	AS001GRD
バッテリー		×	BL4025 (容量 2.5 Ah)
バッテリーカバー		×	○
充電器 (充電時間)		×	DC40RA (実用充電完了 *1 : 約 19 分) (フル充電完了 *2 : 約 28 分)
プラスチックケース		×	○
ノズル 3		○	○
ノズル 7		○	○
ノズル 13		○	○
フレキシブルノズル 6		○	○
ワイドレンジノズル		○	○
ピンチバルブノズル		○	○
エアベントホース		○	○
ラバーアタッチメント 20-30		○	○
ラバーアタッチメント 65		○	○
フィルタ C		○	○

\*1 実用充電完了：フル充電完了の約 80% の充電が完了した状態。

\*2 フル充電完了：バッテリーの容量いっぱいまで充電された状態。

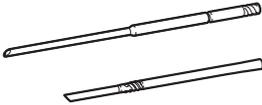
## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリー一覧

バッテリー (容量)	部品番号
◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
BL4050F (5.0 Ah)	A-72372

◎：使用推奨バッテリー

- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ  
部品番号：A-69967  
※ 充電器 DC40RA、DC40RB または DC40RC に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。
- ・ ロングノズルセット品  
部品番号：A-73455



# バッテリーについて

## バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

## バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

## バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは  
リサイクルへ

# バッテリーについて

## バッテリーの取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

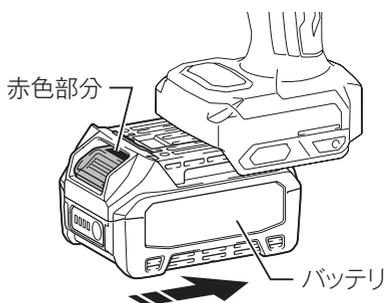
- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

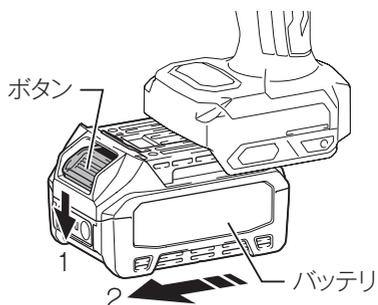
### 取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



### 取りはずし方

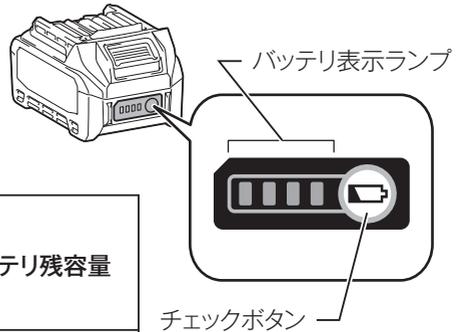
- ・ バッテリーのボタンを
  1. 矢印方向に押しながら
  2. 引き出します。



# バッテリーについて

## バッテリー残容量表示機能

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



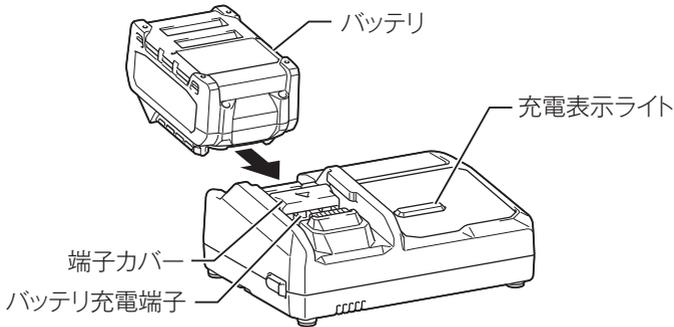
バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
:点灯     :点滅     :消灯	
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリーの異常です。

### 注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

# 充電器について

## バッテリーの充電方法

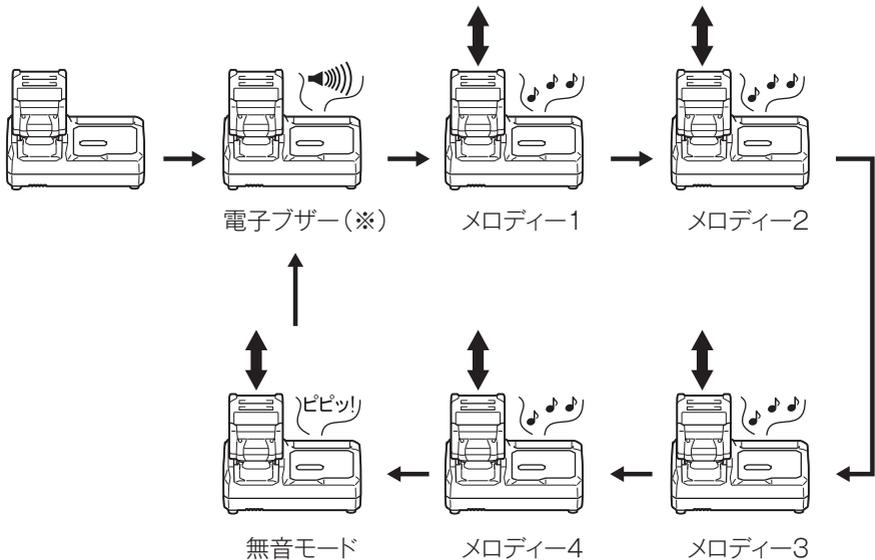


1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込みます。
  - ・ 充電表示ライトは [ 緑点滅 ] を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。
  - ・ 充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが [ 青点滅 (短) ] に変わり、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 実用充電完了状態 (約 80 % ~ 100 %) になると [ 青点灯 ] に変わり、電子ブザーが約 1 秒鳴ります。
5. フル充電完了状態になると [ 緑点灯 ] に変わり、充電完了メロディーまたは電子ブザー音が鳴ります。
  - ・ 充電時間は周囲温度 (10 °C ~ 40 °C) やバッテリーの状態 (新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど) により変動します。
  - ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。
6. 充電完了後はバッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

# 充電器について

## 充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。
2. このとき、素早くバッテリーを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。
3. 続けて素早くバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。  
「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが [ 緑点灯 ] に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

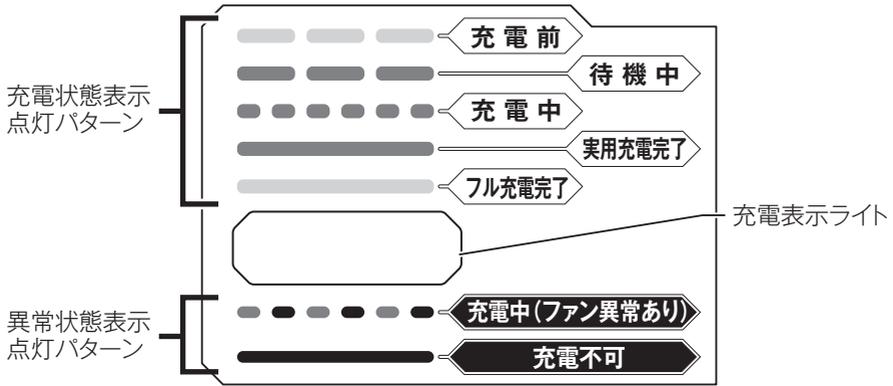


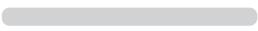
(※) 出荷時は電子ブザーに設定されています。

# 充電器について

## 充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。



ライト表示	状態	詳細
緑点滅 	充電前	電源に差し込んだ状態
青点滅(長) 	待機中	バッテリーが高温 冷却後、自動的に充電開始
青点滅(短) 	充電中	バッテリー容量約0%~80%
青点灯 	実用充電完了	バッテリー容量約80%~100% (80%で電子ブザーが鳴ってお知らせ)
緑点灯 	フル充電完了	バッテリー容量100% (電子ブザーまたはメロディーでお知らせ)
青・赤交互点滅 	充電中(ファン異常あり)	冷却ファンの故障または冷却不足の状態
赤点灯 	充電不可	バッテリー寿命またはゴミづまりで 充電不可の状態 (電子ブザーが約20秒間鳴ってお知らせ)

## 充電器について

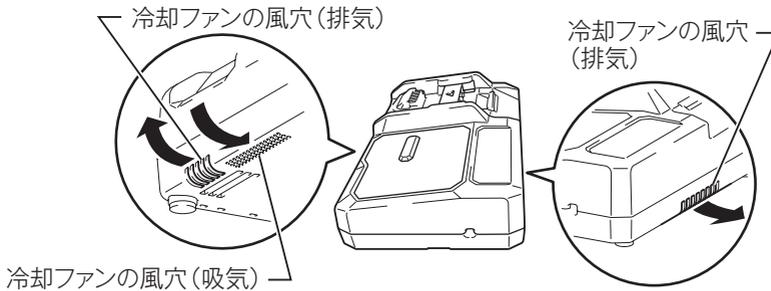
### 注

- DC40RA はマキタバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが [ 青点滅 (長) ] を繰り返す場合があります。
  - ・ このようなときは、自動的に充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが [ 赤点灯 ] し、電子ブザーが [ ピッピッピッ ] と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できないか、充電器とバッテリー間の通信が異常です。
  - ・ このようなときは、バッテリー充電端子を掃除したり、新しいバッテリーに交換してください。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
  - × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、充電表示ライトが [ 緑点滅 ] しない。
  - × バッテリーを挿入しても、充電表示ライトが [ 青点滅 ] しない。
- バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

# 充電器について

## 冷却システムについて

- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミづまりによって冷却不足となった場合、充電表示ライトが[赤・青交互点滅]し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います、充電時間が長くなることがあります（その場合、実用充電完了表示はありません）。
  - ・ このようなときは、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ・ 充電器の前面と背面にある「冷却ファンの風穴」がゴミやほこりでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、充電表示ライトが[赤・青交互点滅]していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に充電表示ライトが[赤・青交互点滅]するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

# 充電器について

## USB 電源端子への接続

### ⚠ 警告

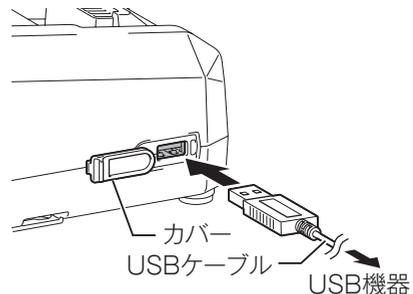
USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

DC40RA は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

### 注

- ・ 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
    - ・ 接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。
  - ・ USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
  - ・ 2.4 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。
    - ・ USB 電源端子の最大出力電流は、2.4 A です。
  - ・ 充電器と USB 機器の接続には、USB 機器に付属の USB ケーブルをご使用ください。
  - ・ 使用後は USB 端子カバーを閉じてください。USB 端子カバーが開いていると USB 端子内部に水滴やほこりが侵入し故障につながります。
1. DC40RA 側面の USB 端子カバーを開いて、USB ケーブルで USB 機器と接続します。
  2. DC40RA の電源プラグを電源コンセントに差し込んで USB 機器に給電します。
  3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
  4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



# 充電器について

## 壁に取り付けて使用する場合

### ⚠ 注意

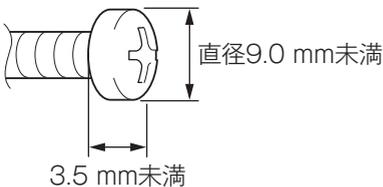
- ・ 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ 2 本で確実に吊下げてください。
- ・ 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリーを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 取り付け作業を行うときは、バッテリーを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- ・ 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ・ ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- ・ 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- ・ 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- ・ 充電器本体、バッテリー（BL4025）の総重量は、約 1.9 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

### 1. 事前準備

#### 用意するもの（別途準備してください）

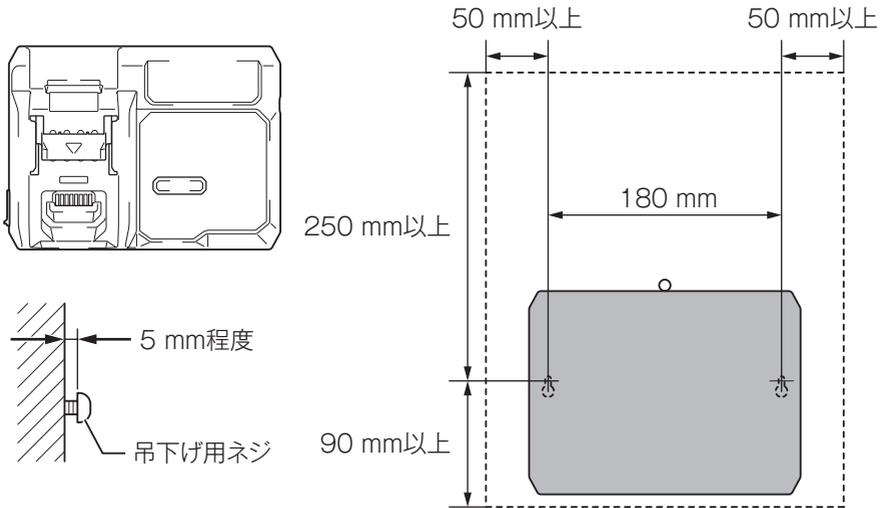
- ・ 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：2 本  
※ネジ頭は下図の寸法としてください。



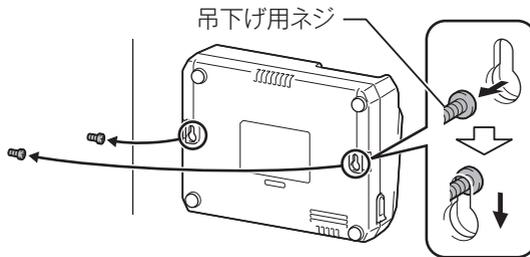
- ・ 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- ・ 工具（ネジ締め用）

# 充電器について

2. 吊下げ用ネジの取り付け  
周りに充電器の取り付け作業や、バッテリーの充電作業の障害になる出っ張りなどが無い、強度のある壁面に取り付けてください。

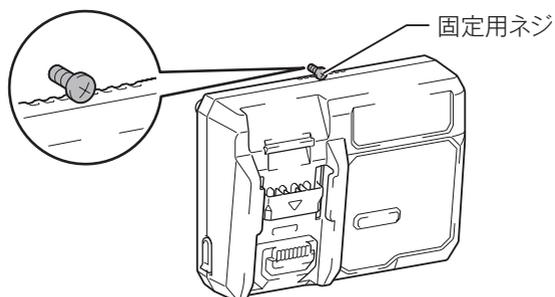


3. 充電器の取り付け  
手順 2 で取り付けした吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



## 充電器について

4. 充電器の固定  
固定用ネジを図のように締め込んでください。



### 充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  - × 温度や湿度の急変する所
  - × 湿気の多い所
  - × 直射日光の当たる所
  - × 揮発性物質の置いてある所

# 使い方

## ⚠ 警告

使用しないときは、トリガーロックボタンをロック位置にしてバッテリーをはずしてください。

- ・ 不意に動きだすなど事故の原因になります。

## スイッチの操作

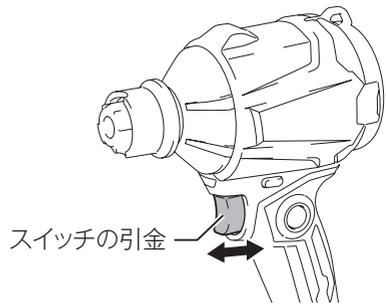
1. トリガーロックボタンを A 側から押してアンロック位置にします。



2. スイッチの引金を引くと作動し、放すと止まります。  
スイッチの引金の引き加減により、お望みの風量が得られます。

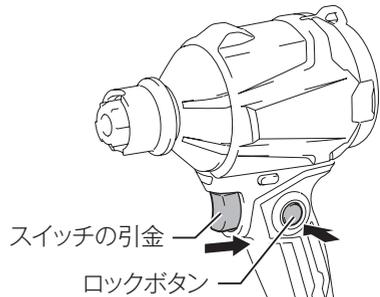
## 注

- ・ スイッチの引金を断続的に引くと応答が遅れる場合がありますが、故障ではありません。



## スイッチの引金を引いた状態で固定する

1. スイッチの引金を引いた状態でロックボタンを押し込むと固定されます。  
スイッチの引金を再度引くと固定が解除されます。



# 使い方

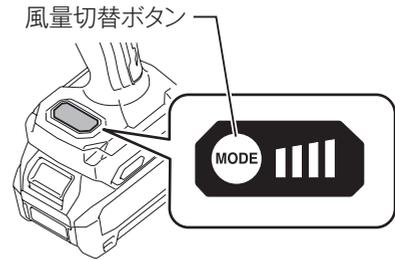
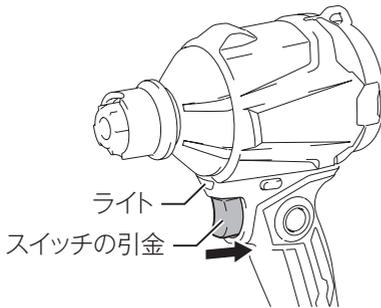
## ライト

### ⚠ 警告

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

- ・ スイッチの引金を引くか「風量切替ボタン」を押すとライトが点灯します。
- ・ スイッチの引金もしくは「風量切替ボタン」を放してから 10 秒後に消灯します。



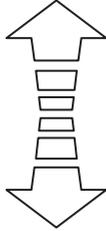
### 注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズをいためます。

# 使い方

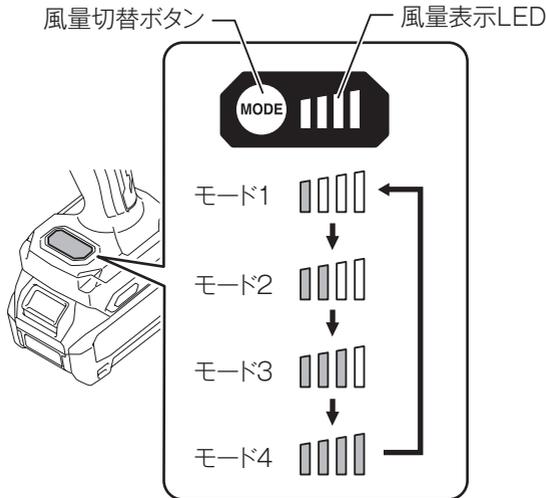
## 風量の切替

- 「風量切替ボタン」で「風量」のモードを四段階に切り替えて使用できます。

モード	連続使用可能時間*	用途
モード1 (風量最小) 	50分	
モード2 	25分	
モード3 	17分	
モード4 (風量最大) 	13分	

\*: BL4025 装着時、ノズル類非装着時

- スイッチの引金を引かなくても「風量切替ボタン」でモードを選択することができます。
- スイッチの引金を引くと、最後に選択したモードで動作を開始します。
- 「風量切替ボタン」を押すごとに、下記のようにモードが切り替わります。
- 「風量切替ボタン」は動作中でも操作できます。



# 用途別ノズルの組み合わせ

## ⚠ 警告

- ・ ノズルを交換する際は必ずスイッチを切って、バッテリーを取りはずしてください。
- ・ ノズルを回すときにノズルソケットが前後に動きます。手や指を挟まないよう注意してください。

本製品はエアダスタとして吹き飛ばし作業のほか、浮き輪などの空気入れ、布団圧縮袋の空気抜きなどの用途でもご利用できます。

## 吹き飛ばし作業

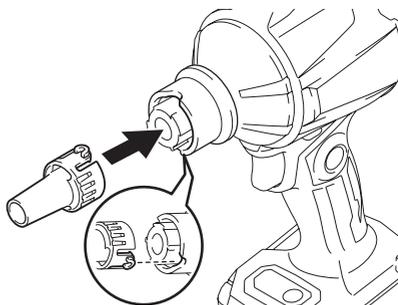
### 注

- ・ ノズルが塞がった状態で作業しないでください。
- ・ 本製品は構造上温かい風が出ますが故障ではありません。

各ノズルの取り付け方、取りはずし方は共通です。

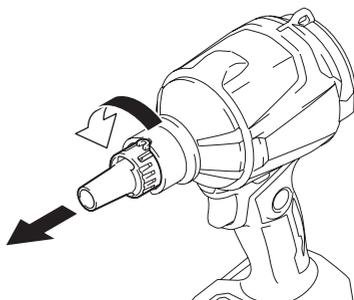
### ノズルの取り付け方

1. ノズルのツメとノズルソケットの溝を合わせます。
2. カチッと音がするまで押し込むと取り付けます。
3. 取り付け後に、一度ノズルを外側に引っ張り、しっかり取り付けられていることを確認します。



### ノズルの取りはずし方

1. ノズルに記載されている矢印の方向へノズルを回すとはずれます。



### 注

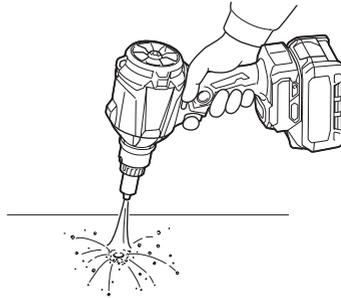
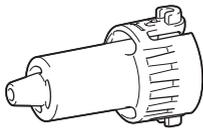
- ・ ノズル着脱部への異物混入などにより、ノズルが取りはずしにくい場合は、ノズルソケットを機体後方へ引きながらノズルを回すとはずれます。

## 用途別ノズルの組み合わせ

### 狭い場所の掃除

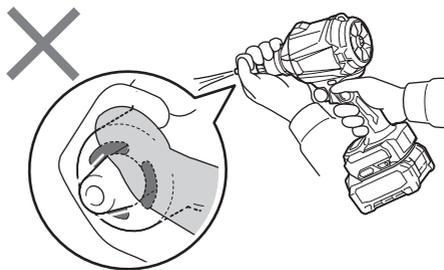
ノズル3を使用します。

ドリル穴の削りカスやOA機器のほこりの吹き飛ばしにおすすめです。



### 注

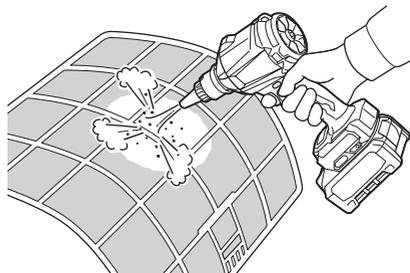
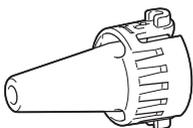
- ・ ノズル送風口周囲の隙間を塞がないでください。故障の恐れがあります。



### エアコンフィルタなどの掃除

ノズル7を使用します。

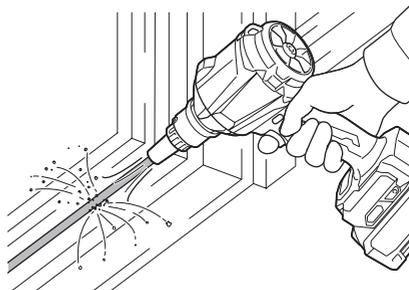
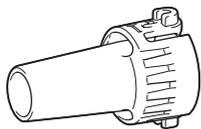
エアコンなどのフィルタの掃除におすすめです。



## 用途別ノズルの組み合わせ

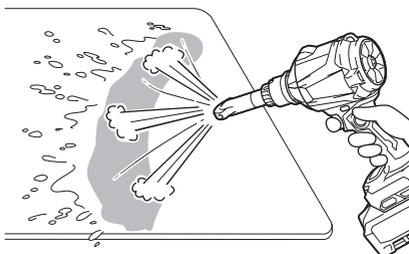
### サッシの溝の掃除

- ・ ノズル 13 を使用します。
- ・ サッシなどの溝に溜まった泥や汚れの吹き飛ばしにおすすめです。



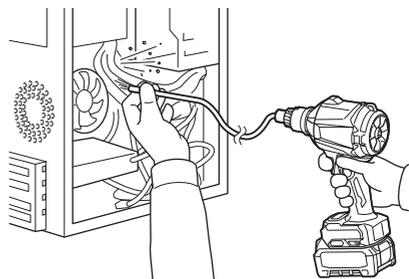
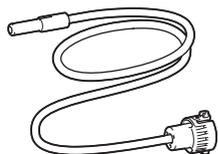
### 広い範囲の吹き飛ばし掃除

- ・ ワイドレンジノズルを使用します。
- ・ 屋外テーブルの砂やゴミの吹き飛ばしや、水分の吹き飛ばしにおすすめです。



### 狭い場所で本製品が入らないところの吹き飛ばし掃除

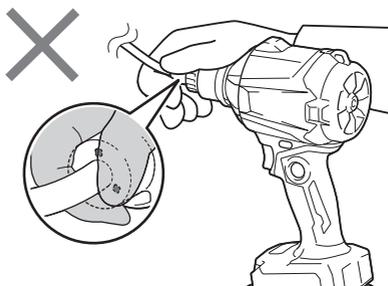
- ・ フレキシブルノズル 6 を使用します。
- ・ OA 機器内部など本製品が入らないところの吹き飛ばし掃除におすすめです。



## 用途別ノズルの組み合わせ

### 注

- ・フレキシブルノズル6を使用するときは必ずノズル先端と本製品を持って作業してください。
- ・ノズルチューブ周囲を塞がないでください。故障の恐れがあります。

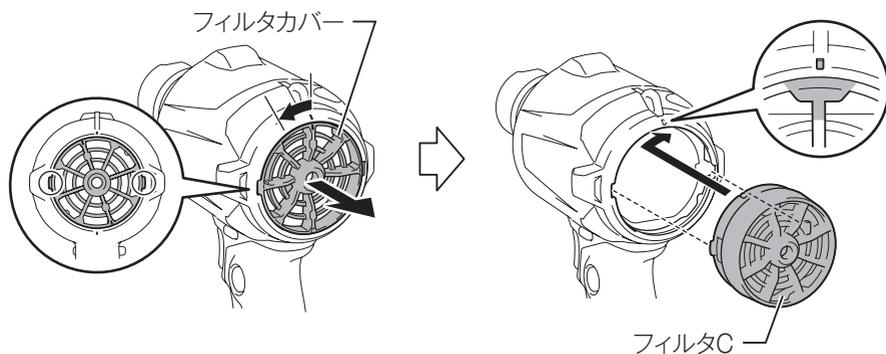


### 粉じんが多い場所での吹き飛ばし作業

- ・フィルタCを使用します。
- ・粉じんが多い場所での作業におすすめです。

### 取り付け方

1. 標準のフィルタカバーを矢印の方向へ回してはずします。
2. フィルタCを吸入口の溝に合わせて入れ、図の位置へ回して取り付けます。



### 注

- ・スポンジのフィルタははずさないでください。

# 用途別ノズルの組み合わせ

## 空気入れ作業

### ⚠ 警告

- ・ ノズルを交換する際は必ずスイッチを切って、バッテリーを取りはずしてください。
- ・ ノズルを回すときにノズルソケットが前後に動きます。手や指を挟まないよう注意してください。

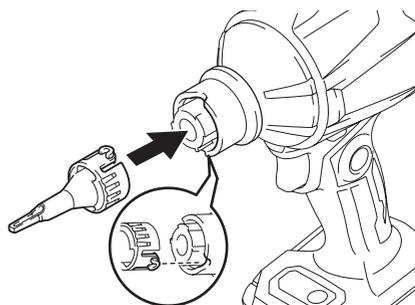
### 注

- ・ ノズルが塞がった状態で作業しないでください。
- ・ 本製品は構造上温かい風が出ますが故障ではありません。
  - ・ 温かい空気が冷やされると体積が減ります。一度空気を入れた後、空気の量が足りないようでしたら追加で空気を入れてください。
- ・ 実際にご使用する浮き輪、ビニルプールの空気栓のサイズを確認してからノズルを選んでください。
  - ・ サイズがあっていない状態で無理に押し込むと破損や故障の原因となります。
- ・ 浮き輪やビニルプールの空気入れとして使用するときは空気の入れ過ぎに注意してください。
  - ・ 破裂や破損の恐れがあります。また、作業中は必ず目を離さないでください。

各ノズルの取り付け方、取りはずし方は共通です。

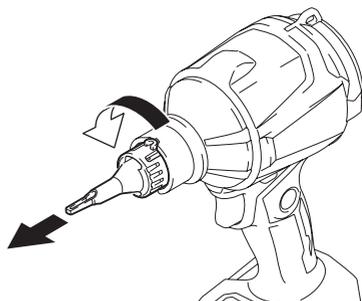
### 空気入れ用ノズルの取り付け方

1. ノズルのツメとノズルソケットの溝を合わせます。
2. カチッと音がするまで押し込むと取り付けます。
3. 取り付け後に、一度ノズルを外側に引っ張り、しっかり取り付けられていることを確認します。



### 空気入れ用ノズルの取りはずし方

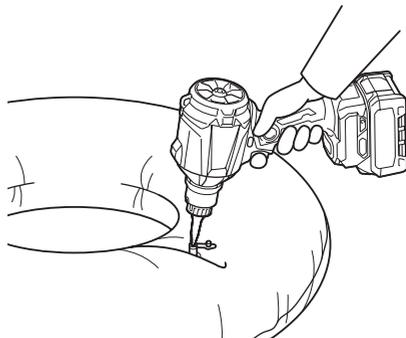
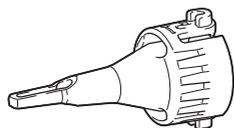
1. ノズルに記載されている矢印の方向へノズルを回します。



## 用途別ノズルの組み合わせ

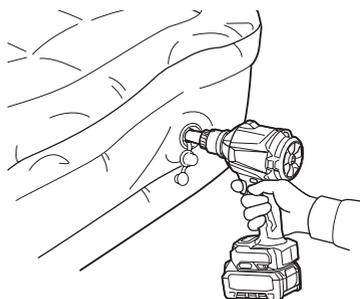
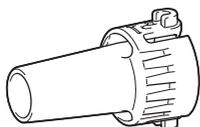
### 小さな浮き輪への空気入れ

- ・ ピンチバルブノズル（浮き輪用ノズル）を使用します。



### 大きな浮き輪やビニルプールへの空気入れ

- ・ ノズル 13 を使用します。



### 風量切替のモードと1充電当たりの送風量(BL4025 装着時、ノズル非装着時)

- ・ 空気入れ作業では風量切り替えのモードにより1充電当たりの送風の総量が異なります。
- ・ 例えばモード4で使用した場合、モード1と比べると浮き輪に早く空気を入れることができますが、空気を入れることができる浮き輪の数は少なくなります。
- ・ 作業に合わせてモードを切り替えてご使用ください。

モード	送風量
モード1	$3.4 \times 10^4$ L
モード2	$2.3 \times 10^4$ L
モード3	$1.7 \times 10^4$ L
モード4	$1.4 \times 10^4$ L

数値は参考値です。

周囲の温度やバッテリーの劣化度合いなどにより、可動時間や送風量は変化します。

# 用途別ノズルの組み合わせ

## 空気抜き作業

### ⚠ 警告

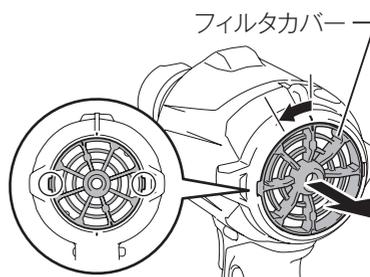
- ・ ノズルを交換する際は必ずスイッチを切って、バッテリーを取りはずしてください。
- ・ ノズルを回すときにノズルソケットが前後に動きます。手や指を挟まないよう注意してください。

### 注

- ・ ノズルが塞がった状態で作業しないでください。
- ・ 実際にご使用する浮き輪、ビニルプールの空気栓のサイズを確認してからノズルを選んでください。
  - ・ サイズがあっていない状態で無理に押し込むと破損や故障の原因となります。
- ・ 浮き輪やビニルプールの空気栓との接続は、本製品にアタッチメントを付ける前に実施してください。
  - ・ アタッチメントを不意に引っ張るなどすると、本製品が転倒・落下し、故障の原因となります。

## エアベントホース（空気抜き用ホース）の取り付け方

1. 吸入口のフィルタカバーを回して取りはずします。

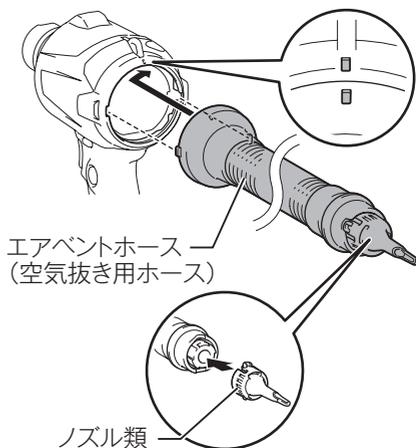


### 注

- ・ スポンジのフィルタははずさないでください。

## 用途別ノズルの組み合わせ

2. エアベントホース（空気抜き用ホース）に使用するノズルを取り付けます。
  - ・ ノズルのツメとアタッチメントのソケットにある溝を合わせてカチッと音がするまで押し込みます。
3. エアベントホース（空気抜き用ホース）の後端側を吸入口の溝に合わせてはめ込み、回します。



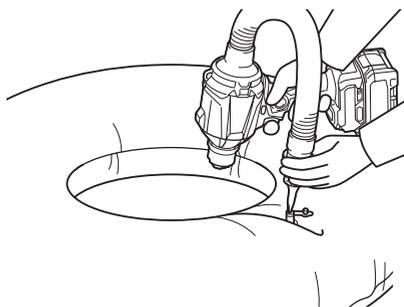
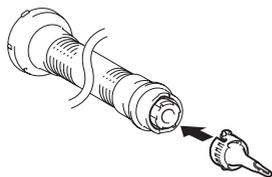
### エアベントホース（空気抜き用ホース）の取りはずし方

1. 取り付け方と逆の手順で取りはずします。
2. エアベントホース（空気抜き用ホース）からノズルを取りはずす際は、他のノズルのはずし方と同様にノズルに記載されている矢印の方向へノズルを回します。

## 用途別ノズルの組み合わせ

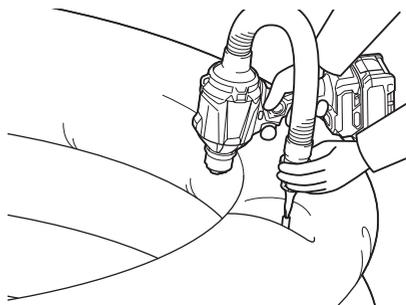
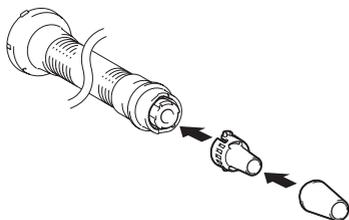
### 浮き輪の空気抜き

- ・ エアイベントホース（空気抜き用ホース）にピンチバルブノズルを取り付けて使用します。



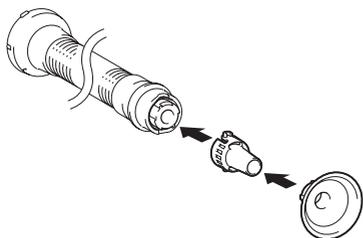
### ビニルプールの空気抜き

- ・ エアイベントホース（空気抜き用ホース）にノズル 13 とラバーアタッチメント 20-30 を取り付けて使用します。



### 布団圧縮袋の空気抜き

- ・ エアイベントホース（空気抜き用ホース）にノズル 13 とラバーアタッチメント 65 を取り付けて使用します。
- ・ 圧縮袋の空気抜き口に当てて使用します。



## 保護機能

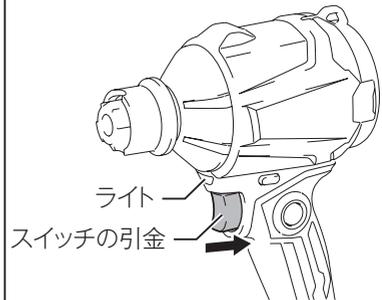
本製品を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

### 保護機能

- 本製品またはバッテリーの温度が高くなるとモーターが自動停止します。
  - ・ 電源を切って本製品を冷ましてください。
  - ・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。

- バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。
  - ・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

ライトが点滅



- 本製品が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。
  - ・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(46 ページ参照)に従って点検してください。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

## 症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

## 原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

## 解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 45 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

# 保守と点検

## ⚠ 警告

保守・点検の際は、必ず電源スイッチを切りバッテリーを抜いてください。  
・ バッテリーを差したまま行くと事故の原因になります。

## 本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

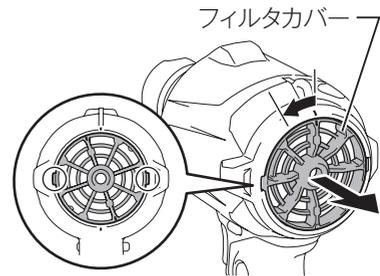
## 注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
  - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

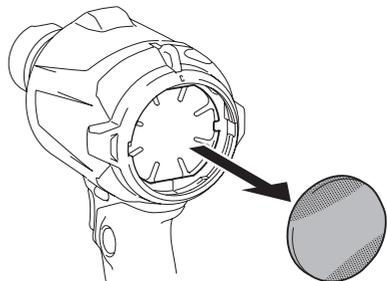
## フィルタのお手入れ

吸入口のフィルタは定期的に掃除をしてください。

1. フィルタカバーをはずします。



2. フィルタを取りはずし、フィルタに付いたゴミやほこりを取り除きます。

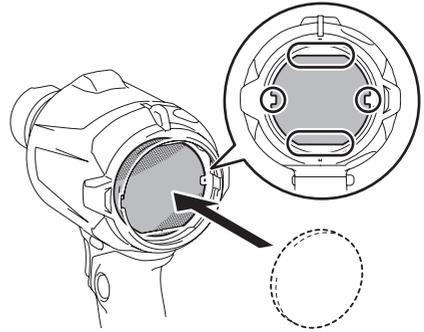


## 保守と点検

フィルタは水洗いできます。水洗いした場合は十分に乾かしてから戻してください。

### 注

- ・ 2枚目のフィルタは取りはずさないでください。
  - ・ 2枚目のフィルタに大きなゴミなどが付着している場合は手で取り除いてください。
  - ・ 水洗いしたフィルタの乾燥にエアダスタを使用しないでください。
3. フィルタをもとの位置に戻します。



4. フィルタカバーを本製品に取り付けます。

### フィルタ C のお手入れ

- ・ フィルタ C は、掃除することで再利用できます。
- ・ フィルタが目詰まりすると、空気の流れが妨げられ、操作の効率が低下する可能性があるため、定期的にフィルタのほこりを取り除いてください。
- ・ 掃除する際は、必ずエアブロウなどで、フィルタからほこりを振り落としたり、吹き飛ばしたりするようにしてください。
- ・ 時々フィルタを水洗いしてください。水洗いした場合は、きれいにすすぎ、日陰で完全に乾かしてから使用してください。

### 注

- ・ フィルタを拭いたり、こすったり、引っかいたりしないでください。目詰まりや故障の原因となります。

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。







# 株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881G73-2

IWT